

村のがまだしモン

No.2

今回は新規就農で頑張っている方を紹介します

編集後記

夏から秋にかけて、異常な天候不順で、なかなか晴天の日がなく農産物の収穫量も心配されるこの頃です。広報委員6名で執筆した今年最後のVOL. 27が出来上がりました。担当して8号目になりました。みんな話し合い、少しでも村民の皆様に、議会や村のことを理解してもらおうと、無い知恵を絞って作成しています。難しい内容が多いかと思いますが、今後の南阿蘇村の発展のため、参考にされてください。幸いです。多くのご意見、ご要望お待ちしております。

議会広報特別委員会
副委員長 桐原 純男

議会広報特別委員会

委員長 脇坂 春喜
副委員長 桐原 純男
委員 市原 秀志
後藤 征昭
丸野健一郎
太田 吉浩

今村 康太さん (35歳)

美穂さん (33歳)

南阿蘇村河陰地区



仲むつまじい今村夫妻

今村康太さんは、県外就職した後、村にUターンして平成23年に就農。その後、山鹿出身の美穂さんとご結婚。福祉関係の仕事をしてきた美穂さんも昨年からは一緒に就農。現在は、両親と親戚の5人でアスパラガスの生産に力を入れている。さらに同世代の仲間達と市場関係者を交えた勉強会を重ねながら、新たな栽培品目も検討している。

今の目標は、農業技術の向上を図りながら、将来的に持続可能な農業を確立することだ。美穂さんもアスパラガス生産者の婦人グループで、加工品の開発にもチャレンジしている。同時に、地元の活性化にも関心が高く、地域の祭りなどにも夫婦揃って積極的に参加している。まさに次世代の地域リーダーとしても楽しみみな2人である。

下田 剣太郎さん (26歳)

南阿蘇村両併地区

熊本県立農業大学校を卒業。夢はもの心ついたころから農業をすること！両親や地域の方の、がまだず姿がかっこよすぎた。

20歳で就農し、21歳の時に父親から「お前が全部しろ」と、経営委譲された。現在はメロン・ミニトマト・大玉トマト・水稲・チンゲンサイを栽培している。春から夏にかけて労働力が集中していたため、チンゲンサイを冬場の作物として取り入れることにより、年間通して栽培が可能になり、雇用も生まれる。

決して、楽な農業経営ではないが、課題を見つけ、解決することが規模拡大や地域貢献につながると考えている。

農業という分野から、この南阿蘇村を盛り上げたい。



幸せいっぱい剣太郎さん
(1月結婚予定)